

# 高松医療センター

## 【施設概要】

当院は、昭和 16 年（1941 年）に香川県立結核療養所として創設されました。昭和 22 年（1947 年）に日本医療団から厚生省に移管され、「国立高松療養所」として発足後、時代の要請に答えながら病院の名称も「国立高松療養所」から「国立療養所高松病院」へ、独立



行政法人に移行した平成 16 年（2004 年）に「独立行政法人国立病院機構 高松東病院」へと変更した後、平成 20 年（2008 年）4 月より現在の「独立行政法人国立病院機構 高松医療センター」に改名いたしました。

令和 2 年現在、香川県における結核の最終拠点病院および神経筋疾患の領域別拠点病院の役割を担っています。

## 【放射線科】

現在 3 名の診療放射線技師が在籍しており、一般撮影、CT、MRI、X 線 TV、血管造影装置、ポータブル撮影などの業務を行っています。同時に 4 つ以上の検査が重なると大変ですが、小さな病院なので医師・看護師・他医療スタッフとのコミュニケーションや連携が取り易く比較的スムーズな運用が来ております。また、夜間・休日については呼び出し待機にて対応しています。



栗林公園

## 【周辺環境】

うどん県香川と呼ばれるだけあって、病院周辺だけでも十数件のうどん屋さんがあり、うどん屋さんを探すには全く困りません。また、所在地である高松市には、3 大名園にも引けを取らないと言われていた回遊式庭園の栗林公園や、源平合戦の古戦場である屋島など、うどんを食べ歩きな



うどん県とポケモンのコラボ ヤドンマンホール

がら気楽に立ち寄ることができる観光スポットが多数ございます。新型コロナ収束の際には是非お越しください。